

NEWS LETTER

今月のハイライト

- 牛の疾病を無くしたい。



2007年03月25日号 NO.63

乳搾りが楽しくなる実践会 会員限定情報誌(月刊) 乳搾りが楽しくなるニュースレター
発行所 RCO ライズコンサルティングオフィス 〒080-0318 北海道河東郡音更町緑陽台南区 1-66
文責 加藤隆 TEL 0155-32-3352 FAX 0155-32-3353 Email risecorp@nifty.com

化学肥料ゼロを、13年続ける牧場。

こんにちは、加藤隆です。ここ十勝も、だいぶ雪解けが進みました。桜の開花予想は、5月の連休明けあたりとか。例年通りです。関東は、今が見ごろなのでしょうね。

さて、今月もあなたに有益な話題をお届けできたらと思っています。今月は、北海道置戸町(おけとちょう)のK牧場からの話題です。

牛で生計を立てている自分が、牛を駄目になっている。当然のように、経営も厳しくなってくる。その苦境をどうやって抜け出したのか？

「同じように悩んでいる人がいれば、私の経験が少しでも役に立つのであればお話しします。」というK牧場。その気持ちを大切に、じっくり聞いてきました。今月はその中からお伝えします。

その前に…、私の話題を少し書かせてください。

時より、ニュースレターの読者の方々からお便りを頂くことがあります。どちらかと言うと、奥さんからのお便りがやっぱり多いですね。

「主人は筆不精なので、私が代わりに…。」という方が、結構多いようです。



NEWS LETTER

生き物相手のみなさんの商売、いろいろな思いがあると思います。そんな日常の心の様子をお便りから読み取ることができます。

寄せて頂いた中から、いくつかご紹介しますね。
ではまずは、道東の奥さんの手紙から。

「私は、技術的にはよくわかりませんが、その他、書かれていること、『本当だなあ』と読ませて頂いています。我が家は、昔から比べると頭数が増えて、経済動物になりがちです。でも、少ない時のように、家族の一員として育てていきたいと思っています。」という手紙。

そうですね、何かの理由で駄目になってしまうことって、数いればありますもんね。でも時々、我を省みることができる気持ちって、大切ですよ。

さて次は、府県の奥さんからの手紙を。



「いつもお世話様です。ニュースレターを毎月送って頂いているのに、この人は読んでいるのかな？ と不安に思われているのではないのでしょうか？」

夕方届けば、お風呂に持って行ってしまいます。私にもメガネなしで読めるとても読みやすいレターです。

北海道の酪農家さんの足元にも及ばない府県の小さな酪農家ですが、税金の申告が終わったら農閑期の今の時期、研修会がたくさんありやっと落ち着きました。

恥ずかしい話ですが、パソコンは農業簿記しかできないので今からパソコンの勉強もしていきたいと思っています。これからも、よろしくお願いします。」と、東北の奥さんからの手紙です。

ありがとう。お風呂にまで持ち込んでもらえるなんて、そんな嬉しいことはありませんよ。感激しました。感謝です。お体に気をつけてがんばってくださいね。

NEWS LETTER

と云うことで、みなさんからのご便り、お待ちしております。もしもペンを取る時間なんてありましたら、寄せてくれると嬉しいです。ニュースレターだけ、読んでくれている方も多いので、ちょっとしたコメント頂けたら、双方向に通じ合えるので私としては嬉しいです。

では、今月の本題の方へ入っていくことにしましょう。

牛の疾病を無くしたい。経営を良くしたいと取り組んだ方法。

2月、置戸町のK牧場を訪問しました。置戸町は、網走支庁管内の町。人口は、3,600人ほど。



主な産業は、畑作、酪農、そして林業。中でも、林業の町らしく木工工芸品「**オケクラフト**」は有名。

エゾ松・トド松を使用した「木の器」です。コーヒーカップやボール類など、おしゃれな器がたくさんあります。